## 就愛リハビリテーション病院

第105回 誠愛院内勉強会:H30年度 各部署からの目標/計画



日本 医療機能評価機構 認定病院 --- 新病院建築のため暫くパス

日本 老年医学会認定研修教育病院 --- 2019年まで 更新

日本 脳卒中学会認定研修教育病院 --- 2019年まで 更新

日本 リハ医学会認定研修教育病院 --- 2022年まで 更新



新入職員の皆さんは、当院のHPやFBをぜひ覗いてみて下さい

## 各部署からの2018年度の活動目標/計画

各部署より年度始めの実現可能な目標/計画を伺いたいと思います。 係長以上のstaffには毎週火曜の朝に昨年比較で発表して戴きます。

- 1)はじめに H30年(2018年)度の目標/計画 長尾 院長 約5分
- 2)医局
- 3)診療部
- 4)看護部
- 5)リハビリ部
- 6)管理部
- 7)医事課
- 7)福祉部
- 8)カトレア
- 9)小児科
- 10)総 評

Seiai Rehabilita 所 Hospital

石松 副院長 "

楠田 部長 "

金山 副院長 "

赤松 副院長 "

今村 部長 "

古賀 課長 "

中村 部長 "

岩瀬 施設長 "

横溝 副医長 "

井林 理事長 "

誠愛リハビリテーション病院

## H30年度 活動目標 長尾 院長

## 地域に根を張る

(地域にとっての財産となる)

- 1 **在宅医療の拡充** 訪問看護、訪問リハビリテーションの充実
- 2 **外来機能の強化** 地域に開かれた外来を目指す(生活習慣病、急性感染症など)。
- 3 講演、セミナー、地域イベントへの参加

## <平成30年度(2018) 部門活動計画>

# 医局

誠愛院内勉強会 H30年4月17日 副院長 石松 義弘

## <平成29年度部門活動報告医局>

#### 財務の視点

地域医療機関との連携強化→済生会二日市病院回診への参加

- \* 減薬への取り組み強化 →減薬実施
- \* 5病棟回復期化へむけてのリハ実績指数管理→回復期病棟化

#### 患者満足の視点

- \* 新規診断機器の導入 →VE導入
- \* 先端機器を用いた治療法の導入へ向けた準備

#### 業務プロセスの視点

- \* 効率的業務分掌の見直し、新病院に合わせた体制作り
- \* 患者紹介依頼・各種書類依頼への迅速な対応

#### 人材育成の視点

\* 学会発表・論文発表の促進、新たな専門医育成→手ロボット研究

## <平成30年度部門活動計画医局>

#### 財務の視点

地域医療機関との連携強化→(急性期病院)+(慢性期病院)

- 減薬への取り組み強化 →継続
- \* H30年度診療報酬・介護報酬同時改定への対応→リハ実績指数管理
- \* 患者確保:1日平均入院患者数186人を目標に設定

#### 患者満足の視点

- \* 新規診断機器の導入→新病院へ向けて検討
- \* 先端機器を用いた治療法の導入 →新病院へ向けて検討

#### 業務プロセスの視点

- \* 効率的業務分掌の見直し、新病院に合わせた体制作り
- \* 患者紹介依頼・各種書類依頼への迅速な対応

#### 人材育成の視点

\* 学会発表・論文発表の促進、新たな専門医育成 →リハ専攻医への対応・リ ハ指導医・手のロボット研究

# H30年度診療報酬・介護報酬同時改定への対応

- \*回復期病棟リハ実績指数管理→
- \*新入院料6段階の3相当の実績を継続→
- \*在宅復帰率70%≦、
- \*重症者率20%≦、
- \*重症者3点以上改善率30%≦、
- \*FIM実績指数30≦の基準

## 診療部の活動報告

平成29年度の実績 平成30年度の目標

平成30年4月17日

診療部部長:楠田憲治

## 薬剤課

#### 平成29年度の実績

- 服薬指導実施(目標:週3件、年間実施件数132件以上)
  年間実施件数185件(3.6件/週)
- ・ 先発品から後発品への変更 (目標:6~10剤)19剤変更
- ・後発品の見直し、納入価格からのアプローチ(目標:4~8剤) 4剤変更
- 処方が中止になっている特別採用薬(39剤)の20%削減:8剤 在庫49剤 前年度比 125% 増加

#### 平成30年度の目標

• 服薬指導実施

目標:週4件、年間実施件数192件以上

・減薬 入院時持参薬6剤以上の場合、退院時までに2剤 以上減薬する割合 35%以上 薬剤課からのアプローチ 服薬指導時の情報、検査値、腎機能などから、薬 剤投与の必要性や用量・用法を医師と協議し減薬 につなげる

## 検査課

#### 平成29年度の実績

- 循環器エコー(心臓、頸動脈、下肢静脈)の検査件数増加平成29年度:227件(平成28年度:273件)
- 技師会の勉強会参加(目標:12回/年)12回/年

#### 平成30年度の目標

- 細菌検査のグラム染色を始めて軌道に乗せる
- ・検査からの情報発信として掲示板の作成:6回/年

## 放射線課

#### 平成29年度の実績

- ・再撮影回数を平成28年度の188回より10%減らす 平成29年度は154回、前年度より19%減。
- ・外部研修会への参加、年10回以上。 外部研修会への参加は6回。

#### 平成30年度の目標

- ・ 再撮影回数を前年度より7%減
- ・外部研修会への参加:年10回以上

## 検査件数

外来				
	H27年度	H28年度	H29年度	
一般	469	502	486	
ポータブル	0	0	0	
VF	1	0	O	
透視	0	0	O	
СТ	119	97	112	
MRI	51	46	31	

入院				
	H27年度	H28年度	H29年度	
一般	4,497	3,983	3,634	
ポータブル	15	7	3	
VF	33	30	32	
透視	5	7	2	
СТ	1,018	926	988	
MRI	170	142	71	

## 栄養課

#### 平成29年度の実績

- ・栄養補助食品の仕入れ金額の減少(目標:昨年度の480万円より10%減少) 25%削減(385万円)
- ・残食の量の減量(目標:昨年度の23kg/日の5%減量)(20kg/日)となり、15%減量(20kg/日)

#### 平成30年度の目標

- ・栄養補助食品の仕入れ金額(385万円/年)をさらに5~10%削減する
- ・食事内容を改善して、残食の量(20kg/日)をさらに5%減らす